

患者さまへ

Distal tibial tuberosity osteotomy 後における術前と比較した退院時の

身体機能回復における検討

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2020年6月より2020年12月までに大垣徳洲会病院整形外科で脛骨骨切り術を受けられた方

2. 研究目的・方法

当院で行われている骨切り術（Distal tibial tuberosity osteotomy（以下DTO））は内側型変形性膝関節症に対して荷重軸を内側から外側へ偏移させることで変形性膝関節症（Osteoarthritis: OA）の進行を抑制する手術です。DTO後の身体機能に関する研究はあまり多くなく、今回術前の身体機能と、退院時の身体機能について既に得られている診療録の情報から検討することといたしました。これにより退院時に身体機能がどの程度まで回復しているのかを明らかにし、入院中のリハビリテーションや退院時の指導に役立てられる可能性があります。

研究実施期間：施設長承認後～2022年5月

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、手術側）、手術前後の歩行速度、手術前後の片脚立位時間 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先研究責任者：

氏名：小出紘靖

病院名・所属、職位：大垣徳洲会病院 リハビリテーション科 理学療法士

住所：〒503-0015

岐阜県大垣市林町6丁目85-1

連絡先：TEL：0584-77-6110

(2021年5月11日作成(第1版))